



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 ダンロップスポーツ株式会社

コード番号 7825 URL <http://www.dunlopsports.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野尻 恭

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 藤井崇彦

TEL 078-265-3200

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	47,721	3.7	1,652	△52.5	1,676	△53.2	927	△47.2
24年12月期第3四半期	46,001	11.8	3,480	500.8	3,581	1,444.0	1,756	206.0

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 2,073百万円 (0.3%) 24年12月期第3四半期 2,066百万円 (704.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	31.98	—
24年12月期第3四半期	61.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	53,351	36,936	67.2
24年12月期	53,709	36,196	65.9

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 35,877百万円 24年12月期 35,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年12月期	—	20.00	—		
25年12月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	7.0	3,000	△21.3	3,000	△29.0	1,400	△13.2	48.28

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	29,000,000 株	24年12月期	29,000,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	143 株	24年12月期	137 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	28,999,861 株	24年12月期3Q	28,489,912 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日段階において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、P2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日～平成25年9月30日)における世界経済は、米国では堅調な民間需要を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、欧州では依然として景気の低迷が続き、アジアでも中国を中心に成長のペースが鈍化してきました。一方、わが国経済においては、為替の円高是正が進み、企業の生産が持ち直して個人消費が増加するなど、景気回復に向けた兆しが見え始めています。

当社グループを取り巻く環境は、国内では好天に恵まれ、ゴルフ場入場者は前年同期を上回りましたが、米国では積雪など悪天候の影響によりシーズンインが遅れ、前年同期を下回りました。

ゴルフ用品市場は国内においてゴルフクラブの新商品投入効果などにより、前年同期を上回る状況で推移しましたが、海外では悪天候の影響で前年同期を下回りました。また、テニス用品市場においても販売が伸び悩み、前年同期を下回りました。

このような経営環境のなか、当社グループは2月、世界中のプロの要求に応じて、飛び・スピコンコントロール性能を進化させたゴルフボール「スリクソンZ-STAR」の新製品を発売し、3月には新開発の革新的な非円形ディンプルにより、まっすぐ力強い高弾道と大きな飛距離を実現するゴルフボール「ゼクシオ XD-AERO」を発売し、好調なスタートを切りました。また、7月にはゴルフ界のスーパールーキーである松山英樹選手との契約を発表し、スリクソンブランドの価値向上に努めました。しかしながら、主力のゴルフクラブ「ゼクシオ セブン」が2年目に入り、好調な販売を継続しているものの1年目には及ばず減収となったほか、ゴルフシューズ、ゴルフウェア、テニスラケットでも販売が伸びず、国内売上高は前年同期を下回りました。

一方、海外市場においては、スリクソンを中心にゴルフボールを各地で拡販したほか、米国ではクリーブランドゴルフのウェッジクラブ新商品がシェアトップ争いをするなど好調に推移しました。そのほか、中国や韓国でもゴルフボールとゼクシオシリーズのゴルフクラブが好調だったことにより、海外売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は47,721百万円(前年同期比103.7%)、営業利益は1,652百万円(前年同期比47.5%)、経常利益は1,676百万円(前年同期比46.8%)、四半期純利益は927百万円(前年同期比52.8%)となりました。なお、前年同期比の減益は、前述にあります「ゼクシオ セブン」が前年を下回ったことが主な要因であります。

セグメントの状況につきましては、スポーツ用品事業では、売上高は44,348百万円(前年同期比103.6%)、営業利益は1,625百万円(前年同期比46.0%)となりました。一方、サービス・ゴルフ場運営事業では、売上高は3,372百万円(前年同期比105.3%)、営業利益は13百万円(前年同期は69百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は53,351百万円となりました。商品及び製品が1,446百万円、その他の流動資産が2,793百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が2,775百万円、長期貸付金が2,047百万円それぞれ減少したこと等により、総資産は前期末と比較して358百万円の減少となりました。

負債合計は16,414百万円となりました。支払手形及び買掛金が1,422百万円減少したこと等により、負債合計は前期末と比較して1,098百万円の減少となりました。

純資産は36,936百万円となりました。円安の影響で為替換算調整勘定が578百万円増加したほか、少数株主持分が276百万円増加したことなどから、純資産は前期末と比較して740百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は67.2%となり、前期末から1.3ポイント増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年8月6日に公表しました予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（4）追加情報

（退職給付引当金）

第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であった株式会社ダンロップスポーツ中部の退職一時金制度における退職給付債務の算定方法を簡便法から原則法に変更しております。この変更は、株式会社ダンロップスポーツマーケティングに吸収合併されたことに伴い、原則法対象会社となったためであります。

この変更により、簡便法と原則法の差額54百万円を特別損失に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,213	2,437
受取手形及び売掛金	12,702	13,382
商品及び製品	7,591	9,038
仕掛品	386	554
原材料及び貯蔵品	2,478	2,474
その他	3,027	5,820
貸倒引当金	△385	△423
流動資産合計	31,014	33,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,005	1,941
機械装置及び運搬具（純額）	1,619	1,610
土地	2,465	2,160
その他（純額）	1,708	1,809
有形固定資産合計	7,798	7,522
無形固定資産		
のれん	6,097	5,597
その他	2,733	2,716
無形固定資産合計	8,830	8,313
投資その他の資産		
長期貸付金	2,912	865
その他	3,484	3,689
貸倒引当金	△331	△325
投資その他の資産合計	6,065	4,229
固定資産合計	22,695	20,065
資産合計	53,709	53,351

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,869	4,447
短期借入金	2,334	1,949
未払法人税等	639	832
賞与引当金	264	638
売上値引引当金	303	1,137
その他	4,950	4,588
流動負債合計	14,362	13,594
固定負債		
退職給付引当金	1,517	1,586
引当金	31	1
その他	1,601	1,231
固定負債合計	3,150	2,819
負債合計	17,512	16,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,207	9,207
資本剰余金	9,294	9,294
利益剰余金	16,973	16,741
自己株式	△0	△0
株主資本合計	35,475	35,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	168
繰延ヘッジ損益	11	△15
為替換算調整勘定	△97	480
その他の包括利益累計額合計	△61	634
少数株主持分	782	1,059
純資産合計	36,196	36,936
負債純資産合計	53,709	53,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	46,001	47,721
売上原価	22,102	24,342
売上総利益	23,898	23,378
販売費及び一般管理費	20,418	21,725
営業利益	3,480	1,652
営業外収益		
受取利息	21	23
受取配当金	5	14
為替差益	14	—
貸倒引当金戻入額	58	19
その他	111	144
営業外収益合計	210	202
営業外費用		
支払利息	48	29
為替差損	—	72
持分法による投資損失	17	19
デリバティブ評価損	0	36
その他	43	19
営業外費用合計	109	178
経常利益	3,581	1,676
特別利益		
固定資産売却益	—	13
特別利益合計	—	13
特別損失		
固定資産除売却損	16	23
退職給付費用	—	54
減損損失	37	—
関係会社株式売却損	—	342
アドバイザー費用	32	—
役員退職金	128	—
特別損失合計	214	419
税金等調整前四半期純利益	3,366	1,270
法人税、住民税及び事業税	1,304	1,137
法人税等調整額	51	△1,166
法人税等合計	1,355	△29
少数株主損益調整前四半期純利益	2,011	1,299
少数株主利益	255	372
四半期純利益	1,756	927

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,011	1,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	144
繰延ヘッジ損益	26	△26
為替換算調整勘定	21	642
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	13
その他の包括利益合計	55	773
四半期包括利益	2,066	2,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,814	1,623
少数株主に係る四半期包括利益	252	450

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スポーツ用品	サービス・ ゴルフ場運営	計		
売上高					
外部顧客への売上高	42,798	3,202	46,001	—	46,001
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55	172	227	(227)	—
計	42,854	3,375	46,229	(227)	46,001
セグメント利益又は損失(△)	3,535	△69	3,466	14	3,480

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額14百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スポーツ用品	サービス・ ゴルフ場運営	計		
売上高					
外部顧客への売上高	44,348	3,372	47,721	—	47,721
セグメント間の内部売上高 又は振替高	51	51	102	(102)	—
計	44,399	3,424	47,824	(102)	47,721
セグメント利益	1,625	13	1,638	14	1,652

(注) 1. セグメント利益の調整額14百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。